

Pioneer *sound.vision.soul*

CD/チューナー・WMA/MP3対応メインユニット

DEH-P005

取扱説明書

目次 4ページ

carrozzeria

必ずお読みください

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

警告

[使用方法]

運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

[異常時の処置]

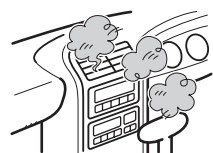
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

CONTENTS

必ずお読みください

安全のために必ずお守りください 2
絵表示について
安全上のご注意

はじめに

各部のなまえ 6
本体
別売のリモコン「CD-R660」について
本機の特長 8
WMAについて
MP3について
ガイド表示について 9
バッテリー上がりを防ぐために 9
50 枚型マルチ CD プレーヤーの 使用について 9

本機の基本操作

本機の基本操作 10
電源 ON
ソース選択
音量調節
電源 OFF

内蔵 CD で CD を聞く

内蔵 CD の基本操作 12
CD セット
選曲
早送り・早戻し
CD イジェクト
モードの切り換えかた 14
ファンクションモードの切り換え
同じ曲を繰り返し聞く 15
いつもと違う曲順で聞く 15
聞きたい曲をさがす 16
CD 再生を一時停止する 17
選曲方法を切り換える 17
10 曲飛びに選曲する 18
CD のタイトルを表示させる 18
「CD TEXT」のタイトルや歌手名を 表示させる 19

WMA/MP3 を聞く

WMA/MP3 の基本操作 20
CD-ROM セット
フォルダー選択
選曲
早送り・早戻し
CD-ROM イジェクト
モードの切り換えかた 23
ファンクションモードの切り換え
同じ曲やフォルダーを 繰り返し聞く 24
いつもと違う曲順で聞く 25
聞きたい曲やフォルダーを さがす 26
WMA/MP3 再生を一時停止する 27
選曲方法を切り換える 28
フォルダー内の曲を 10 曲飛びに 選曲する 28
TAG 表示を ON/OFF する 29
WMA/MP3 のタイトルを 表示させる 30
表示切り換え
隠れている文字を表示する

ラジオを聞く

ラジオの基本操作 32
バンド切り換え
選局
複数の放送局を自動的に 記憶させる 34
放送局を 1 局ずつ記憶させる 35
記憶させた放送局を呼び出す 36
記憶させた放送局を直接呼び出すとき
記憶させた放送局を順番に呼び出すとき
放送局名を選ぶ 36

マルチCDでCDを聞く

マルチCDの基本操作	38
ディスク選択	
選曲	
早送り・早戻し	
モードの切り換えかた	40
ファンクションモードの切り換え	
詳細設定モードの切り換え	
同じ曲やCDを繰り返し聞く	41
いつもと違う曲順で聞く	42
聞きたい曲やCDをさがす	42
聞きたい曲だけ記憶させておく	44
記憶させた曲だけ再生する	45
記憶させた曲を1曲ずつ	
記憶から消す	45
記憶させた曲をCDごとに	
記憶から消す	46
CDのタイトルを記憶させる	47
CDのタイトルを表示させる	49
「CD TEXT」のタイトルや歌手名を	
表示させる	49
表示切り換え	
隠れている文字を表示する	
タイトルをを見て聞きたいCDを	
さがす	50
CD再生を一時停止する	51
CDの音質を調節する	52

音を調節する

お好みの音の空間に設定する	54
イコライザーカーブを補正する	55
イコライザーカーブを選ぶ	56
モードの切り換えかた	56
オーディオ調節モードの切り換え	
オーディオ詳細設定モードの切り換え	
前後左右の音量バランスを	
調節する	58
お好みに合わせてイコライザー	
カーブを調節する	59
イコライザーカーブを細かく	
調節する	60
低音と高音を調節する	61
低音・高音レベルの調節	
調節する低音周波数の選択	
調節する高音周波数の選択	

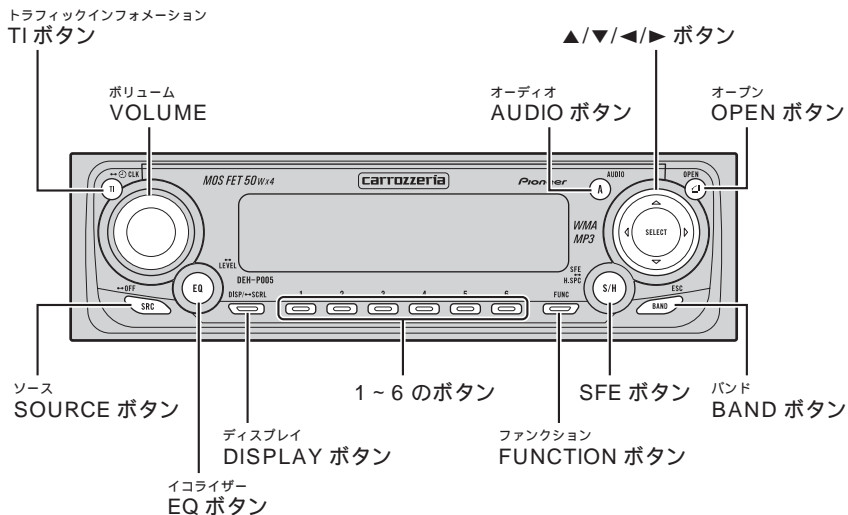
小音量時の音にメリハリをつける	64
サブウーファーを使う	64
外部アンプなどで	
サブウーファーを調節する	66
低い音をスピーカーから	
出力させないようにする	67
各ソースの音量の違いを揃える	68

その他の機能と付録

瞬時に音量を小さくする	70
時計を表示させる	70
よく使う機能を直接操作する	71
内蔵CD、WMA/MP3、マルチCDのとき	
ラジオのとき	
テレビのとき	
交通情報を受信する	72
初期設定モードの切り換えかた	72
時計を合わせる	73
外部機器の音声を聞く	74
外部機器の名称を入力する	74
夜間のディスプレイの明るさを	
切り換える	75
リアの出力方法を変える	76
サブウーファーの調節先を選ぶ	77
ミュート/アッテネート切り換え	78
レベルインジケーターを	
切り換える	78
CDの正しい使いかた	80
WMA/MP3ファイルについて	82
故障かな?と思ったら	84
こんなメッセージが表示されたら	86
保証書とアフターサービス	87
用語解説	88
おもな仕様	90

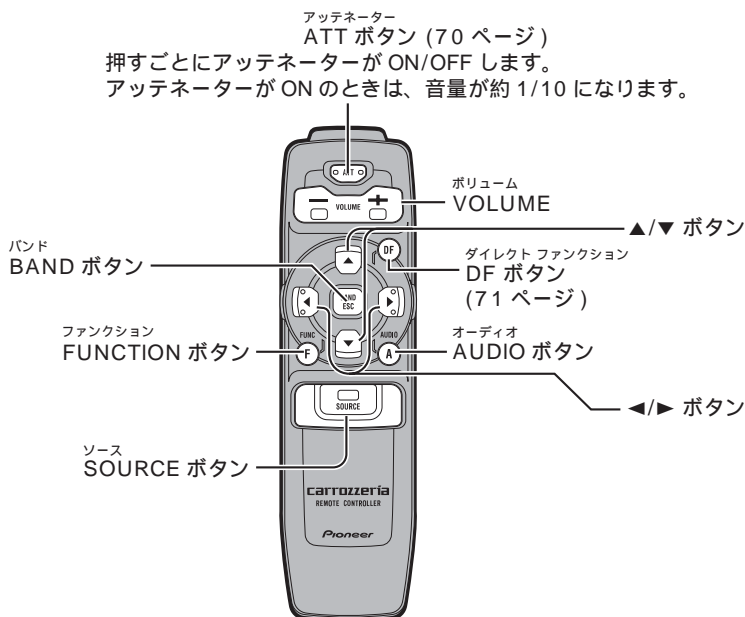
各部のなまえ

本体



別売のリモコン「CD-R660」について

別売のリモコン「CD-R660」で、本機を操作することができます。
リモコンの取り扱いについては、リモコンの説明書をお読みください。



DF ボタンについて

DF ボタンを押すと、ソースごとにあらかじめ記憶されている機能を直接操作することができます。内蔵 CD・マルチ CD でポーズ、ラジオで BSM、テレビで BSSM を操作することができます。(71 ページ)

- ・ 別売のステアリングリモートコントロールユニット「CD-SR100」(以下、ステアリングリモコン) で本機を操作することもできます。ただし、この場合は、一部リモコンでは操作できない機能があります。
- ・ ステアリングリモコンの操作のしかたや取り扱いについては、ステアリングリモコンの説明書をお読みください。

本機の特長

本機は、音楽CD、WMA/MP3の再生に対応しています。

CD再生

音楽用のCD/CD-R/CD-RWを再生することができます。

WMA/MP3再生

WMAおよびMP3ファイルが記録されたCD-R/CD-RW/CD-ROMの再生に対応しています。ディスクは、ISO9660のレベル1、およびレベル2、および拡張フォーマット (Joliet、Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。(82、88ページ)

WMAについて



外装箱に印刷された、Windows Media™のロゴは、本機がWMAデータの再生に対応していることを示しています。

WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7、7.1、またはWindows Media Player for Windows XPを使用してエンコードすることができます。

Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

- ・ WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- ・ WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

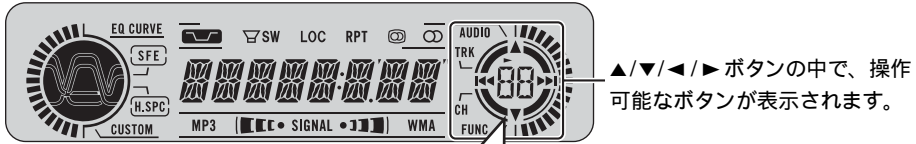
MP3について

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。

営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットをはじめとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

ガイド表示について

本機の操作を行っているとき、ディスプレイを見て操作ができるように、ディスプレイにガイド表示が出ます。



表示の例	内容
	▲/▼/◀/▶ ボタンで操作できます。
	▲または▼ ボタンで機能のON/OFFができます。
	◀または▶ ボタンで項目を選ぶことができます。

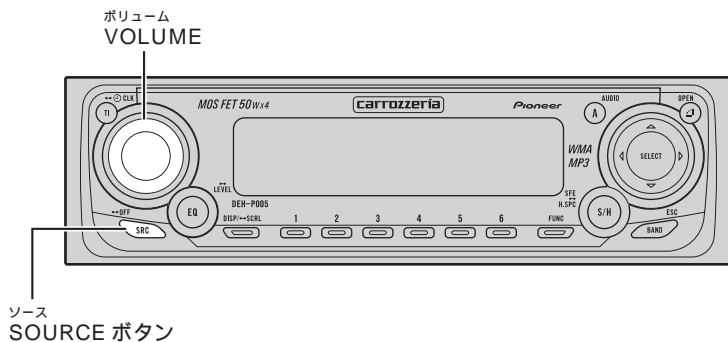
バッテリー上がりを防ぐために

本機を使用するときは、必ず車のエンジンをかけてください。また、本機が電源OFFのときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のイグニッションスイッチをON(またはACC)にしないでください。バッテリー上がりの原因になります。

50枚型マルチCDプレーヤーの使用について

本機では、50枚型マルチCDプレーヤーの取扱説明書に記載されている50枚型マルチCDプレーヤー特有の機能を操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。

本機の基本操作



本機の基本操作

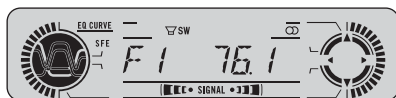
電源 ON/ソース選択/音量調節/電源 OFF

ここだけの操作で、本機を使用することができます。

1 SOURCE ボタンを押して、電源を入れる

本機の電源が ON になります。

CD を CD 挿入口に差し込んだときも、電源が ON になります。(12 ページ)



2 SOURCE ボタンを押して、ソース (音源) を切り換える

ボタンを押すごとに、次のようにソースが切り換わります。

ラジオ (FM/AM) テレビ 内蔵 CD マルチ CD (別売) External (エクスターナルユニット 1) (別売) External (エクスターナルユニット 2) (別売) AUX (外部機器) (別売)
ラジオ (FM/AM) に戻る



3 VOLUME を押す

押すと手前に出てきます。
もう一度押すと、元に戻ります。

4 VOLUME を回して、音量を調節する

右回し：大きくするとき

左回し：小さくするとき



0～62の範囲で調節できます。
約4秒間、音量が表示されます。

5 SOURCE ボタンを1秒以上押し て、電源を切る

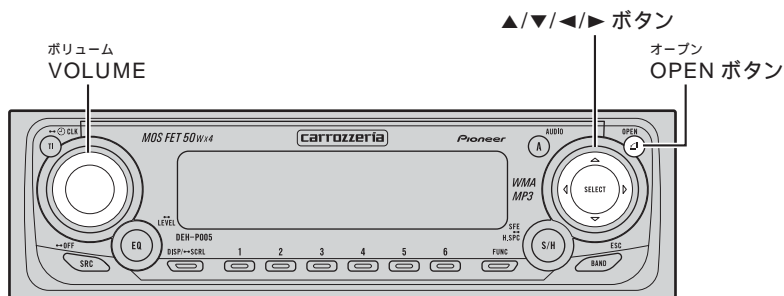
電源がOFFになります。

テレビを接続したときは

操作のしかたは、テレビの取扱説明書をご覧ください。テレビ(例：「AVX-P777」)の取扱説明書では、本機以外の製品を例にして、操作を説明している場合があります。その製品と対応しているボタンで操作を行ってください。

- ・ 接続していないソースには切り換わりません。
- ・ CDがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。
- ・ 本機の青リード線(オートアンテナ)に車側のオートアンテナコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。
- ・ External(エクスターナルユニット)とは、本機がソースとして対応していないパイオニア製品(将来発売される製品など)の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。本機では、2台のExternal(エクスターナルユニット)をコントロールすることができますが、External1、External2のどちらに切り換えても“EXTERNAL”が表示されます。2台のExternal(エクスターナルユニット)を接続した場合、本機によって、External1、External2が自動的に設定されます。
- ・ AUX(外部機器)の設定(74ページ)をONにしないと、AUXには切り換わりません。

内蔵CDでCDを聞く

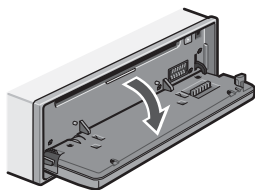


内蔵CDの基本操作

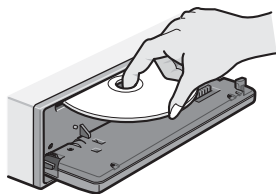
CDセット/選曲/早送り・早戻し/CDイジェクト

ここだけの操作で、CDを聞くことができます。

- 1 OPEN ボタンを押して、フロントパネルを開ける



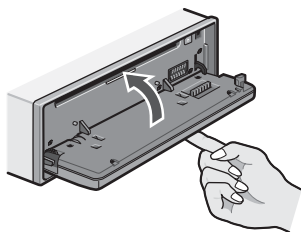
- 2 タイトル面を上にして、CDをCD挿入口に差し込む



- ・ CDシングル (8 cm CD) もアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。
- ・ CD挿入口には、CD以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。

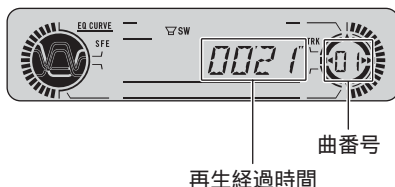
- 3 フロントパネルを閉める
CDの再生が始まります。

「CD TEXT」の場合、セットしたときや、他のソースから内蔵CDに切り換えたときなどに、ディスクタイトル、曲名を自動的に1回スクロール表示します。



4 ◀または▶ ボタンを押して、聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻しをする)

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5 秒未満
曲の早送り/早戻し ¹⁾	0.5 秒以上押し続けている間

「CD TEXT」を再生しているときは、曲を選んだときに、曲名を自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、自動的にスクロール表示しません。

¹⁾ 選局方法にROUGHを選んでいる場合、ラフサーチ (18 ページ) になります。

5 VOLUME を押す

押すと手前に出てきます。
もう一度押すと、元に戻ります。

6 VOLUME を回して、音量を調節する

右回し : 大きくするとき
左回し : 小さくするとき

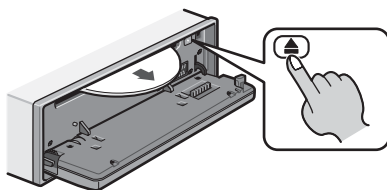


0 ~ 62 の範囲で調節できます。
約 4 秒間、音量が表示されます。

7 OPEN ボタン、EJECT ボタンを押して、CDを取り出す

CD が出てきます。

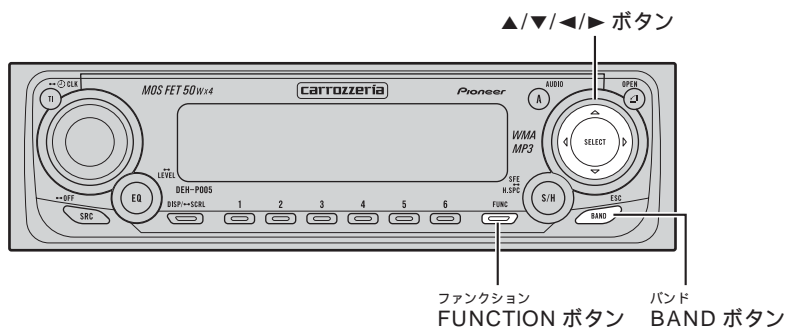
出てきたCDはすぐに取り出して、保管してください。



8 フロントパネルを閉める

CD挿入口にゴミやホコリが入るのを防ぐためフロントパネルを閉めてください。

- CD をセットしたまま電源を OFF にしたり、他のソース (ラジオやマルチ CD など) に切り換えることもできます。(10 ページ)
- CD を挿入すると、本機は CD からファイル形式などの情報を読みとります。この間、ディスプレイは「FRMTREAD」が表示されます。
- ▲/▼ ボタンは、音楽 CD 再生時には操作できません。(WMA/MP3 再生時に操作できます。)



モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 FUNCTION ボタンを押して、ファンクションモードを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (15 ページ) ランダムモード (15 ページ)
 スキャンモード (16 ページ) ポーズモード (17 ページ)
 選曲方法切り換えモード (17 ページ) TAG 表示モード
 リピートモードに戻る

- ・音楽データを再生している場合、TAG 表示を ON にしても効果はありません。(29 ページ)
- ・ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

同じ曲を繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

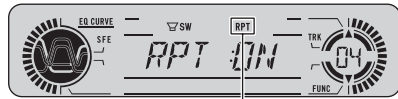
- 1 FUNCTION ボタンを押して、リピートモードを選ぶ



- 2 ▲ ボタンを押して、リピート再生をONにする

今聞いている曲を繰り返し再生します。

▼ ボタンでOFFになります。



リピート再生中に表示されます。

- 3 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をCDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

- 1 FUNCTION ボタンを押して、ランダムモードを選ぶ



- 2 ▲ ボタンを押して、ランダム再生をONにする

次の曲から、ランダムに再生します。

▼ ボタンでOFFになります。



ランダム再生中に表示されます。

- 3 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



聞きたい曲をさがす

スキャン再生

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、スキャンモードを選ぶ



- 2** ▲ ボタンを押して、スキャン再生をONにする

曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。



スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

- 3** 聞きたい曲が再生されたら、スキャンモードにしてから、▼ ボタンを押して、スキャン再生をOFFにする

ファンクションモードが解除されていたら、手順1の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。



- 4** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

・ スキャン再生を始めた曲まで戻るとスキャン再生は解除されます。

CD再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

- 1 FUNCTION ボタンを押して、ポーズモードを選ぶ



- 2 ▲ ボタンを押して、ポーズをONにする
CD再生が一時停止します。
▼ ボタンでOFFになります。



- 3 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



一時停止中に表示されます。

内蔵CDでCDを聞く

選曲方法を切り換える

◀/▶ ボタンを0.5秒以上押したときに、早送り/早戻しにするか、10曲飛びに選曲するラフサーチにするかを選ぶことができます。

- 1 FUNCTION ボタンを押して、選曲方法切り換えモードを選ぶ



- 2 ◀ または ▶ ボタンを押して、選曲方法を選ぶ

- ▶ : ROUGH (ラフサーチ) を選ぶとき
- ◀ : FF/REV (早送り/早戻し) を選ぶとき



- 3 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

10曲飛びに選曲する

ラフサーチ

10曲以上収録されているディスクの場合、10曲飛びに選曲することができます。多くの曲を収録しているディスクのときに、聞きたい曲をだまかにさがすことができます。

- 1 選曲方法切り換えモードにしてラフサーチを選んでおく (17ページ)

- 2 ◀または▶ ボタンを0.5秒以上押して、聞きたい曲を選ぶ

- ▶ : 10曲先のトラックを選ぶとき
- ◀ : 10曲前のトラックを選ぶとき



- ・ 10曲以下のディスクでは、ラフサーチを行うと、最初の曲と最後の曲を選曲します。ラフサーチ後に残りの曲数が10曲以下になった場合も同様になります。

CDのタイトルを表示させる

ディスクタイトル表示

CDのタイトルを入力し、表示させることができます。

タイトル入力について

タイトル入力は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。タイトルの入力のしかた (47ページ)、タイトルの表示のしかた (49ページ) は、マルチCDと同じです。

タイトルは8文字まで入力できます。

内蔵CDのタイトルは、48枚分の記憶ができます。

48枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

タイトルの記憶は、CDごとに行われます。CDを取り出しても消えません。

マルチCDを組み合わせて使用する場合

タイトルを記憶させたCDをマルチCDにセットしたときは、ディスプレイにタイトルを表示させることができます。

マルチCDを組み合わせると、最大100枚分のタイトルを記憶することができます。

「CD TEXT」のタイトルや歌手名を表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

本機に「CD TEXT」をセットしたとき、ディスクタイトルや曲名などを表示させることができます。1度に8文字まで表示することができます。また、隠れている文字を順に表示させることもできます。

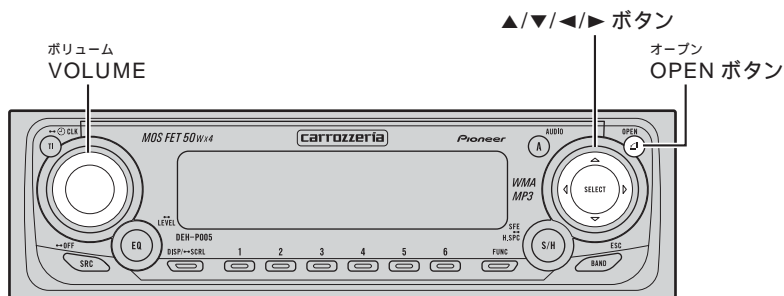
「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



タイトル表示のしかた、隠れているタイトルの表示のしかたは、マルチCDと同じです。(49ページ)

WMA/MP3 を聞く

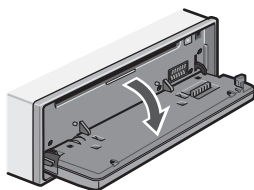


WMA/MP3 の基本操作

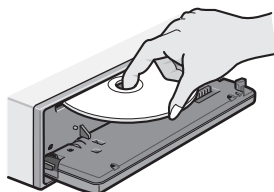
CD-ROM セット/フォルダー選択/選曲/早送り・早戻し/CD-ROM イジェクト

ここだけの操作で、WMA や MP3 を聞くことができます。再生できる WMA や MP3 については (82 ページ)。

- 1 OPEN ボタンを押して、フロントパネルを開ける



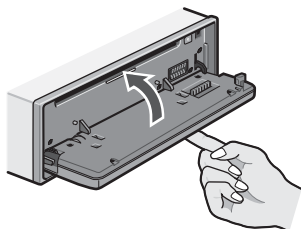
- 2 タイトル面を上にして、CD-ROM を CD 挿入口に差し込む



・ CD 挿入口には、CD 以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。

- 3 フロントパネルを閉める
CD-ROM の再生が始まります。

CD-ROM をセットしたときや、他のソースから WMA/MP3 に切り換えたときに、フォルダー名、ファイル名を自動的に 1 回スクロール表示します。



4 ▲または▼ ボタンを押して、聞きたいフォルダーを選ぶ

- ▲ : 次のフォルダーを選ぶとき
- ▼ : 前のフォルダーを選ぶとき

BAND ボタンを2秒以上押すと、フォルダー01 (ROOT) に戻ります。ただし、フォルダー01 (ROOT) にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。



フォルダー番号

5 ◀または▶ ボタンを押して、聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻しをする)

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



再生経過時間

曲番号

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5 秒未満
曲の早送り/早戻し ^{*1}	0.5 秒以上押し続けている間

曲を選んだときに、ファイル名を自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、自動的にスクロール表示しません。

WMA/MP3 ファイルの早送り/早戻しをしているときは、音は出力されません。

^{*1} 選局方法にROUGHを選んでいる場合、ラフサーチ (28 ページ) になります。

6 VOLUME を押す

押すと手前に出てきます。
もう一度押すと、元に戻ります。

7 VOLUME を回して、音量を調節する

右回し : 大きくするとき
左回し : 小さくするとき

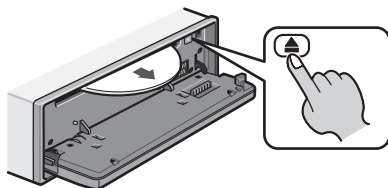


0~62の範囲で調節できます。
約4秒間、音量が表示されます。

8 OPEN ボタン、EJECT ボタンを 押して、CD-ROM を取り出す

CD-ROM が出てきます。

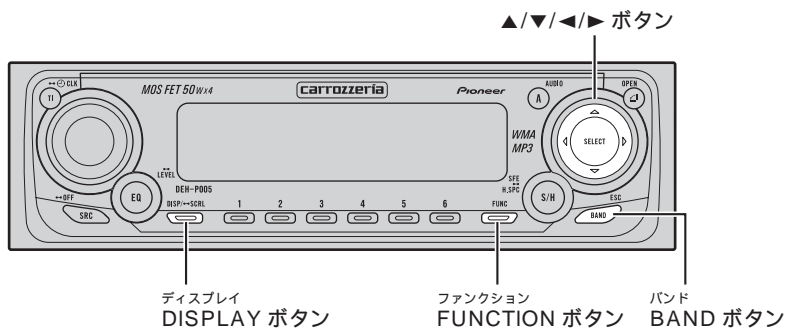
出てきたCD-ROMはすぐに取り出して、保管してください。



9 フロントパネルを閉める

CD挿入口にゴミやホコリが入るのを防ぐためフロントパネルを閉めてください。

- ・ CD をセットしたまま電源を OFF にしたり、他のソース (ラジオやマルチ CD など) に切り換えることもできます。(10 ページ)
- ・ CD-ROM を挿入すると、本機は CD からファイル形式などの情報を読みとります。この間、ディスプレイは "FRMTREAD" が表示されます。
- ・ VBR (可変ビットレート) で録音されたファイルを早送り/早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。
- ・ WMA/MP3 ファイルと、音楽データが混在しているディスクの場合は、BAND ボタンを押して、WMA/MP3 ファイルと、音楽データを切り換えて再生することができます。WMA/MP3 ファイルと、音楽データを切り換えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。このとき、音楽データ側に記録された文字情報は表示されません。



モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 FUNCTION ボタンを押して、ファンクションを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- リピートモード (24 ページ) ランダムモード (25 ページ)
- スキャンモード (26 ページ) ポーズモード (27 ページ)
- 選曲方法切り換えモード (28 ページ) TAG 表示モード (29 ページ)
- リピートモードに戻る

- ・ ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

同じ曲やフォルダーを繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1つのフォルダーを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
ディスクリピート	再生中のCD-ROMを繰り返し再生します。(通常はこのモードにしておきます。)
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
フォルダーリピート	再生中のフォルダーを繰り返し再生します。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、リピートモードを選ぶ



- 2** ◀または▶ ボタンを押して、再生範囲を切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



トラックリピートのときに表示されます。

TRK (トラックリピート) FLD (フォルダーリピート) DSC (ディスクリピート)
TRKに戻る

- 3** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をCDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順（ランダム）で再生することができます。

1 リpeatモードにして再生範囲を選ぶ（24ページ）

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

2 FUNCTION ボタンを押して、ランダムモードを選ぶ



3 ▲ ボタンを押して、ランダム再生をONにする

次の曲から、ランダムに再生します。

▼ ボタンでOFFになります。



4 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

表示	再生範囲
FRDM	フォルダーリピート
RDM	ディスクリピート



ランダム再生中に表示されます。

- ・ トラックリピートのときに、ランダム再生をONにすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わり、ランダム再生します。

WMA/MP3を聞く

聞きたい曲やフォルダーをさがす

スキャン再生

今聞いているフォルダーの、曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのフォルダーの、1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。

1 リピートモードにして、再生範囲を選ぶ (24ページ)

聞きたい曲をさがすとき
(トラックスキャン再生)

◀または▶ ボタンを押して、フォルダー
リピートにする

再生中のフォルダーの全曲を、約10秒ずつ
再生することができます。

聞きたいフォルダーをさがすとき
(フォルダースキャン再生)

◀または▶ ボタンを押して、ディスク
リピートにする

再生中のディスク内すべてのフォルダーの1
曲目だけを、約10秒ずつ再生することがで
きます。

2 FUNCTION ボタンを押して、スキャン モードを選ぶ



3 ▲ ボタンを押して、スキャン再生を ON に する

曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。



スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的
にファンクションモードが解除されます。

表示	選択範囲
FSCN	フォルダーリピート
SCAN	ディスクリピート



スキャン再生中に表示されます。

- 4** 聞きたい曲（フォルダー）が再生されたら、スキャンモードにしてから、▼ボタンを押して、スキャン再生をOFFにする



ファンクションモードが解除されていたら、手順2の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

- 5** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

- ・ スキャン再生を始めた曲（またはフォルダー）まで戻るとスキャン再生は解除されます。
- ・ トラックリビートのときに、スキャン再生をONにすると、再生範囲がフォルダーリビートに切り換わり、スキャン再生します。

WMA/MP3 再生を一時停止する

ポーズ

WMA/MP3 再生を一時停止することができます。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、ポーズモードを選ぶ



- 2** ▲ボタンを押して、ポーズをONにする

WMA/MP3 再生が一時停止します。

▼ボタンでOFFになります。



- 3** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



一時停止中に表示されます。

選曲方法を切り換える

◀/▶ ボタンを 0.5 秒以上押したときに、早送り/早戻しにするか、10 曲飛びに選曲するラフサーチにするかを選ぶことができます。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、選曲方法切り換えモードを選ぶ



- 2** ◀または▶ ボタンを押して、選曲方法を選ぶ

- ▶ : ROUGH (ラフサーチ) を選ぶとき
- ◀ : FF/REV (早送り/早戻し) を選ぶとき



- 3** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

フォルダー内の曲を 10 曲飛びに選曲する

ラフサーチ

10 曲以上収録されているフォルダーの場合、10 曲飛びに選曲することができます。多くの曲を収録しているフォルダーのときに、聞きたい曲を大まかにさがすことができます。

- 1** 選曲方法切り換えモードにしてラフサーチを選んでおく

- 2** ◀または▶ ボタンを 0.5 秒以上押して、聞きたい曲を選ぶ

- ▶ : 10 曲先のトラックを選ぶとき
- ◀ : 10 曲前のトラックを選ぶとき



曲番号

- ・ 10 曲以下のフォルダーでは、ラフサーチを行うと、最初の曲と最後の曲を選曲します。ラフサーチ後に残りの曲数が 10 曲以下になった場合も同様になります。

TAG 表示を ON/OFF する

曲名やアーティスト名などの文字情報を収録したディスクを再生している場合、ID3 tag や WMA tag の表示を ON/OFF することができます。

ID3 tag の表示を OFF にすると、ON にしている場合に比べ、曲を切り換えたときに再生が始まるまでの時間が短くなります。

- 1 FUNCTION ボタンを押して、TAG 表示モードを選ぶ



- 2 ▲ボタンを押して、TAG 表示を ON にする
▼ボタンで OFF になります。



- 3 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

- ・ TAG 表示を ON にすると、文字情報を読み込むために、聞いている曲の始めに戻ります。
- ・ 漢字やカナで曲名やアーティスト名が入力されている場合、正しく表示できません。

WMA/MP3 のタイトルを表示させる

タイトル表示/タイトルスクロール

WMA/MP3 ファイルに記録された、曲名やフォルダー名、アルバム名などの文字情報や、ビットレートなどを表示させることができます。

表示切り換え

- 1 DISPLAY ボタンを押して、表示を切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



再生経過時間表示 フォルダー名 (FOLDER) ファイル名 (FILE)
 曲名 (TRK TTL) 歌手名 (ART NAME) アルバム名 (ALBM TTL)
 ビットレート表示 再生経過時間表示に戻る

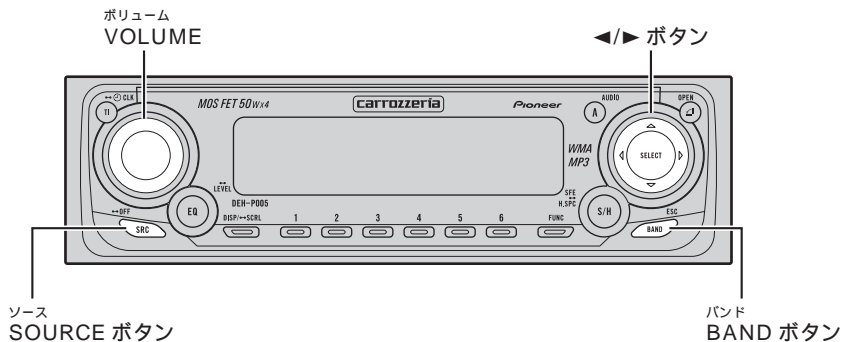
隠れている文字を表示する

- 1 DISPLAY ボタンを2秒以上押して、隠れているタイトルをスクロール表示する



- ・ 曲名 (TRK TTL) などが収録されていないCD-ROM で表示を切り換えると “NO NAME” が表示されます。
- ・ WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- ・ 漢字やカナで入力されたタイトルは、本機では正しく表示できません。正しく表示させるためには、半角英数字でタイトルを入力してください。

ラジオを聞く

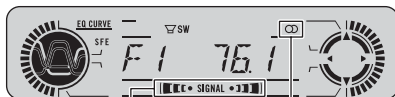


ラジオの基本操作

バンド切り換え/選局

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

1 SOURCE ボタンを押して、ソースをラジオにする



ステレオ放送を受信すると表示されます。

受信状態を表示します。

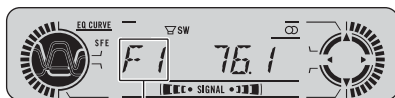
2 BAND ボタンを押して、バンドを選ぶ

ボタンを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。

F1 F2 A1 A2 F1 に戻る

バンドごとに放送局を6局ずつ記憶できます。
(34、35ページ)

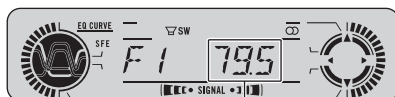
バンド1とバンド2を切り換えて使うことでより多くの放送局を記憶できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を記憶させておきます。旅行先など、どんな放送局があるのか知らない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと、バンド1に記憶させた放送局はそのまま使いになります。



バンド

3 ◀または▶ ボタンを押して、放送局を選ぶ

- ▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき
- ◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



受信周波数

選局方法の使い分け

手動選局 (1 ステップずつ)	0.5 秒未満
自動選局	0.5 秒以上

0.5 秒以上押し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。

4 VOLUME を押す

押すと手前に出てきます。
もう一度押すと、元に戻ります。

5 VOLUME を回して、音量を調節する

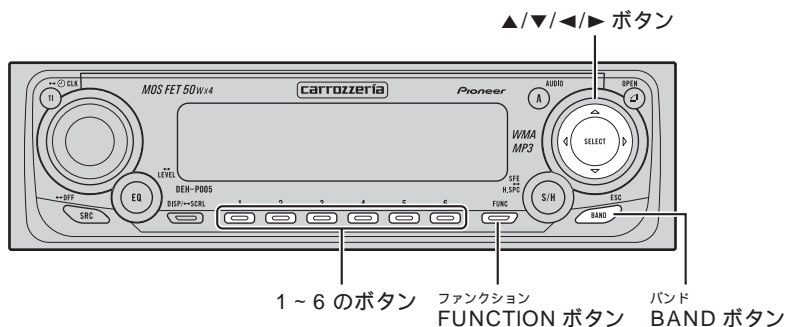
右回し : 大きくするとき
左回し : 小さくするとき



0 ~ 62 の範囲で調節できます。
約 4 秒間、音量が表示されます。

6 他のソースに切り換えるか、電源を OFF にして、ラジオの受信をやめる (10 ページ)

- 本機は、あらかじめ放送局名を記憶しています。ディスプレイに表示されている放送局名と受信している放送局名が異なるときは、受信している放送局名に変更することができます。(36 ページ)



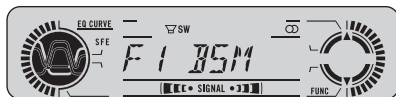
複数の放送局を自動的に記憶させる

BSM

受信状態の良い放送局を探して、自動的に 1 ~ 6 のボタンに記憶させることができます。

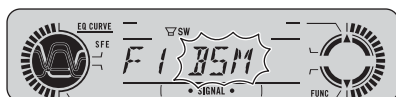
- 1** BAND ボタンを押して、記憶させるバンドを選ぶ (32 ページ)

- 2** FUNCTION ボタンを押して、BSM モードにする

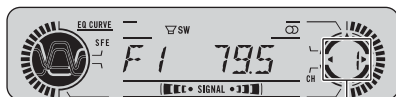


- 3** ▲ ボタンを押して、BSM を始める
記憶が終わると点滅が止まり、1 のボタンに記憶した放送局を受信します。

▼ ボタンで途中解除します。



- 4** BAND ボタンを押して、BSM モードを解除する



受信中の記憶番号

- ・ 受信状態の良い放送局が、6 局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。
- ・ BSM とは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー) の略です。
- ・ 記憶させた放送局を呼び出すには (36 ページ)
- ・ BSM モードは、約 30 秒間何も操作しないと、自動的に解除されます。

放送局を1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1～6のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手動で記憶させることができます。

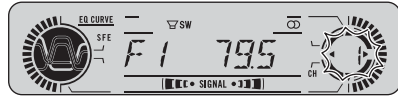
1 BAND ボタンを押して、記憶させるバンドを選ぶ (32 ページ)

2 ◀または▶ ボタンを押して、記憶させたい放送局を選ぶ (33 ページ)

3 1～6のボタンの1つを2秒以上押して、記憶させる

押したボタンの番号 (記憶番号) が点滅します。

記憶が終わると点滅が止まり、押したボタンに受信中の放送局が記憶されます。



・ 記憶させた放送局を呼び出すには (36 ページ)

記憶させた放送局を呼び出す

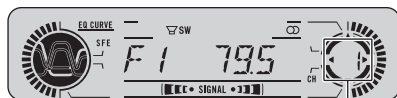
プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。

記憶させた放送局を直接呼び出すとき

1 BAND ボタンを押して、記憶させたバンドを選ぶ (32 ページ)

2 1 ~ 6 のボタンの1つを押して、記憶させた放送局を直接呼び出す



受信中の記憶番号

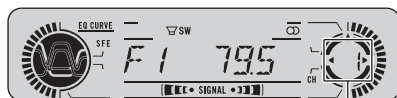
記憶させた放送局を順番に呼び出すとき

1 BAND ボタンを押して、記憶させたバンドを選ぶ (32 ページ)

2 ▲または▼ボタンを押して、記憶させた放送局を順に呼び出す

▲ : 次の記憶番号の放送局を呼び出すとき

▼ : 前の記憶番号の放送局を呼び出すとき



受信中の記憶番号

放送局名を選ぶ

放送局名選択

受信している放送局に合わせて、表示する放送局名を選ぶことができます。

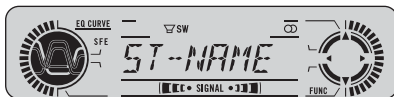
放送局名について

同じ周波数でも、地域によって受信する放送局は異なります。表示されている放送局名が受信している放送局名と異なる場合、放送局名を変更することができます。

・ 本機に登録されていない放送局名は選べません。

- 1** 実際の放送局名と表示が異なる場合、FUNCTION ボタンを2秒以上押して、放送局名選択モードにする

現在受信している周波数以外の放送局名を変更することはできません。別の周波数の放送局名を変更したい場合、その周波数を受信して(32ページ)から放送局名選択モードにしてください。

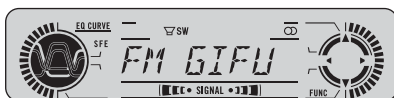


- 2** ◀または▶ ボタンを押して、放送局名を選ぶ

- ▶ : 次の放送局名を選ぶとき
- ◀ : 前の放送局名を選ぶとき



- 3** ▲ ボタンを押して、放送局名を変更する
選んだ放送局名に変更されます。

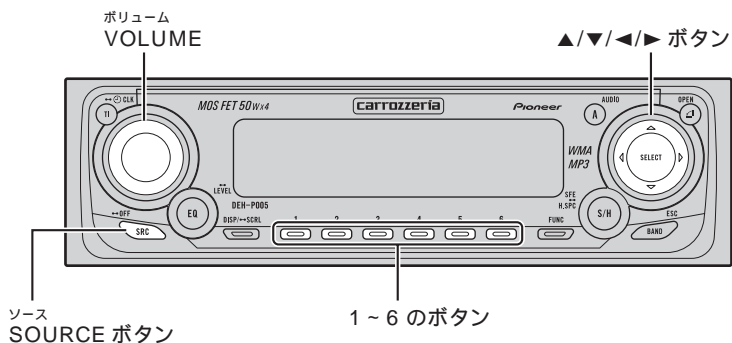


- 4** BAND ボタンを押して、放送局名選択モードを解除する



- 選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていないと、“NO DATA”と表示されます。
- 放送局名を表示させたくないときは、“_____” (全て空白)を選んでください。
- パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCD(「CDX-FM675」など)をお使いの場合、モジュレーター周波数に合わせると、放送局名を“FM M-CD”に変更して表示することができます。
- パイオニア製のTVをFMモジュレーターでお使いの場合、モジュレーター周波数に合わせると、放送局名を“FMTVSND”に変更して表示することができます。

マルチCDでCDを聞く



マルチCDの基本操作

ディスク選択/選曲/早送り・早戻し

ここだけの操作で、マルチCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

1 SOURCE ボタンを押して、ソースをマルチCDにする

「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー（「CDX-P670」など）に「CD TEXT」をセットしているときは、他のソースからマルチCDに切り換えたときに、ディスクタイトルおよび曲名を自動的に1回スクロール表示します。



2 ▲または▼ボタンを押して、聞きたいCDを選ぶ

- ▲：次のCDを選ぶとき
- ▼：前のCDを選ぶとき

1～6のボタンを押して、聞きたいCDを選ぶこともできます。7～12枚目のCDを選ぶ場合、1～6のボタンを2秒以上押しします。



CD 番号

3 ◀または▶ ボタンを押して、聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻しをする)

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し続けている間

「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー (「CDX-P670」など) で「CD TEXT」を再生しているときは、曲を選んだときに、曲名を自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、自動的にスクロール表示しません。



4 VOLUME を押す

- 押すと手前に出てきます。
- もう一度押すと、元に戻ります。

5 VOLUME を回して、音量を調節する

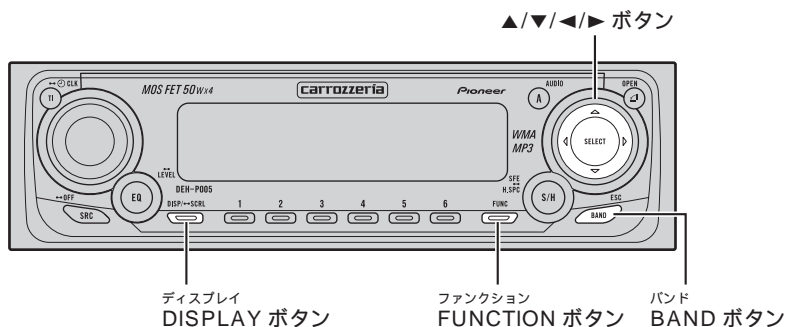
- 右回し : 大きくするとき
- 左回し : 小さくするとき



0~62の範囲で調節できます。
約4秒間、音量が表示されます。

6 他のソースに切り換えるか、電源をOFFにして、マルチCDの再生をやめる (10 ページ)

- マルチCDが準備動作 (CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど) をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると“READY”が表示されます。
- マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、“NO MAG”が表示されます。



モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 FUNCTION ボタンを押して、ファンクションモードを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (41 ページ) タイトルリストモード (50 ページ)
 ランダムモード (42 ページ) スキャンモード (42 ページ)
 ITS 再生モード (45 ページ) ポーズモード (51 ページ)
 COMP 切り換えモード (52 ページ) リピートモードに戻る

・ ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 FUNCTION ボタンを 2 秒以上押して、詳細設定モードにする

2 FUNCTION ボタンを押して、詳細設定モードを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

タイトル入力モード (47 ページ) ITS 入力モード (44 ページ)
 タイトル入力モードに戻る

- ・ 詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。
- ・ 「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードに切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ収録されているタイトルは変更できません。)

同じ曲やCDを繰り返し聞き

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

再生範囲について

再生範囲 (繰り返し聞く範囲) は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。
マルチCDリピート	マルチCDに入っている全てのCDを通して再生します。(通常はこのモードにしておきます。)

- 1 FUNCTION ボタンを押して、リピートモードを選ぶ



- 2 ◀または▶ ボタンを押して、再生範囲を切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



トラックリピートを選んだときに表示されます。

TRK (トラックリピート) DSC (ディスクリピート) MCD (マルチCDリピート)
TRKに戻る

- 3 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順（ランダム）で再生することができます。

- 1 リピートモードにして、再生範囲を選ぶ
(41 ページ)

選んだ再生範囲内で、ランダム再生が行われます。

- 2 FUNCTION ボタンを押して、ランダムモードを選ぶ



- 3 ▲ ボタンを押して、ランダム再生をONにする

次の曲から、ランダムに再生されます。

▼ ボタンでOFFになります。



- 4 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

表示	選択範囲
DRDM	ディスクリピート
RDM	マルチCDリピート



ランダム再生中に表示されます。

- ・トラックリピートのときに、ランダム再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わり、ランダム再生します。

聞きたい曲やCDをさがす

スキャン再生

今聞いているCDの、曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのCDの、1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。

- 1 リピートモードにして、再生範囲を選ぶ
(41 ページ)

聞きたい曲をさがすとき

(トラックスキャン再生)

◀または▶ ボタンを押して、ディスクリピートにする

再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生することができます。

聞きたいCDをさがすとき

(ディスクスキャン再生)

◀または▶ ボタンを押して、マルチCDリピートにする

マルチCDのマガジン内すべてのCDの1曲目だけを、約10秒ずつ再生することができます。

2 FUNCTION ボタンを押して、スキャンモードを選ぶ

3 ▲ ボタンを押して、スキャン再生をONにする

曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。

表示	選択範囲
DSCN	ディスクリピート
SCAN	マルチCDリピート



スキャン再生中に表示されます。

4 聞きたい曲 (CD) が再生されたら、スキャンモードにしてから ▼ ボタンを押して、スキャン再生をOFFにする

ファンクションモードが解除されていたら、手順2の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。



5 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

- ・ スキャン再生を始めた曲 (またはCD) まで戻るとスキャン再生は解除されます。
- ・ トラックリピートのときに、スキャン再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わり、スキャン再生します。

聞きたい曲だけ記憶させておく

ITS 記憶

記憶させた曲だけ再生する（45 ページ）ために、あらかじめ聞きたい曲をマルチ CD に記憶させておきます。

ITS について

ITSとは、Instant Track Selection（インスタントトラック セレクション）の略です。ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する機能です。

曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。CD1枚につき99曲まで記憶することができます。（「CDX-P1250」「CDX-P650」以前に発売されたマルチCDでは、記憶できる曲が24曲目までになります。）ITSは、タイトル（47ページ）と合わせてCD100枚分の記憶ができます。100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

- 1 ▲または▼ボタンを押して、記憶させたいCDを再生する（38ページ）

- 2 FUNCTIONボタンを2秒以上押してからFUNCTIONボタンを押して、ITS入力モードを選ぶ



- 3 ◀または▶ボタンを押して、記憶させたい曲を選ぶ（39ページ）



- 4 ▲ボタンを押して、記憶させる



約2秒間表示され、記憶したことを知らせます。

- 5 BANDボタンを押して、詳細設定モードを解除する

記憶させた曲だけ再生する

ITS 再生

ITS 記憶 (44 ページ) で記憶させた曲だけを再生することができます。

- 1 リピートモードにして、再生範囲を選ぶ (41 ページ)

選んだ再生範囲内で、ITS 再生が行われます。

- 2 FUNCTION ボタンを押して、ITS 再生モードを選ぶ



- 3 ▲ ボタンを押して、ITS 再生を ON にする
ITS 再生が始まり、記憶させた曲だけが再生されます。

▼ ボタンで OFF になります。



- 4 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



ITS 再生中に表示されます。

- 手順 1 で選んだ再生範囲内に、記憶させた曲がない場合は、“EMPTY” が約 2 秒間表示されて、ITS 再生は行われません。

マルチCDでCDを聞く

記憶させた曲を 1 曲ずつ記憶から消す

ITS 消去 (1 曲ごと)

記憶させた曲を 1 曲ずつ消すことができます。

- 1 ITS 再生を ON にする (45 ページ)
- 2 ◀または▶ ボタンを押して、消去したい曲を再生する (39 ページ)
- 3 FUNCTION ボタンを 2 秒以上押してから FUNCTION ボタンを押して、ITS 入力モードを選ぶ



次ページへつづく

4 ▼ボタンを押して、消去する

再生していた曲が記憶から消去され、次に記憶されている曲が再生されます。



5 BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除する

- ・現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合は、“EMPTY” が約 2 秒間表示されて、ITS 再生が OFF になります。

記憶させた曲を CD ごとに記憶から消す

ITS 消去 (CD ごと)

記憶させた曲を CD ごとに消すことができます。

1 ▲または ▼ボタンを押して、消去したい CD を再生する (38 ページ)

ITS 再生が ON になっているときは、ITS 再生を OFF にしてください。(45 ページ)

2 FUNCTION ボタンを 2 秒以上押してから FUNCTION ボタンを押して、ITS 入力モードを選ぶ



3 ▼ボタンを押して、消去する

“ITS CLR” が 2 秒間表示され、消去されたことを知らせます。



4 BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除する

CDのタイトルを記憶させる

タイトル入力

CDにタイトルを入力することができます。また、入力したタイトルはディスプレイに表示させることができます。(49ページ)

タイトル入力について

タイトル入力は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

CDにタイトルをつけるとタイトルリスト(50ページ)で聞きたいCDをさがすこともできます。「CD TEXT」に対応しているマルチCD(「CDX-P670」など)では、「CD TEXT」にあらかじめ収録されているCDタイトルで同様にタイトルリスト(50ページ)をすることができます。

タイトルは8文字まで入力できます。

記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。

タイトルは、ITS(44ページ)と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

- 1 ▲または▼ボタンを押して、タイトルを入力したいCDを再生する(38ページ)

- 2 FUNCTION ボタンを2秒以上押して、タイトル入力モードを選ぶ

「CD TEXT」に対応しているマルチCD(「CDX-P670」など)で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードには切り換わりません。(「CD TEXT」に収録されているCDタイトルは変更できません。)



マルチCDでCDを聞く

次ページへつづく

3 タイトルを入力する

入力する位置を選ぶ

◀または▶ ボタンを押して、入力したい位置にカーソルを移動させる

▶ : 右に移動させるとき

◀ : 左に移動させるとき

入力する位置でカーソルが点滅します。8文字まで入力することができます。

入力する文字を選ぶ

▲または▼ ボタンを押して、入力したい文字を選ぶ

▲ : 次の文字を選ぶとき

▼ : 前の文字を選ぶとき

選んだ文字が点滅します。

文字は空白 (_), アルファベット (A ~ Z), 記号 (* , + , - , / など), 数字 (0 ~ 9) のの中から選ぶことができます。



4 8文字目まで入力する

余ったところは空白のまま、▶ ボタンを押して、8文字目を点滅させます。



5 ▶ ボタンを押して、入力したタイトルを記憶させる

入力位置の点滅が消え、入力したタイトルが記憶されます。



6 BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除する

- ・ タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) にBAND ボタンを押すと、詳細設定モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)

CDのタイトルを表示させる

ディスクタイトル表示

タイトル入力 (47 ページ) で入力したCDのタイトルを表示させることができます。

1 DISPLAY ボタンを押して、表示を切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



再生経過時間表示 ディスクタイトル (DISC TTL) 再生経過時間表示に戻る

- ・ タイトルが入力されていないCDで表示を切り換えると、“NO TITLE”が表示されます。

「CD TEXT」のタイトルや歌手名を表示させる

タイトル表示/タイトルスクロール

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) で「CD TEXT」を再生しているとき、ディスクタイトル (ディスク名)、ディスクアーティスト (歌手名) などを表示させることができます。一度に8文字まで表示することができます。また、隠れている文字も順に表示させることができます。

- ・ 「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) の機能です。

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



次ページへつづく

表示切り換え

- 1 DISPLAY ボタンを押して、表示を切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生経過時間表示 ディスクタイトル (DISC TTL) ディスクアーティストネーム (ART NAME) トラックタイトル (TRK TTL) トラックアーティストネーム (ART NAME)
再生経過時間表示に戻る



隠れている文字を表示する

- 1 DISPLAY ボタンを2秒以上押して、隠れているタイトルを表示する

隠れている文字が順に表示されます。



- ・トラックアーティストネーム (歌手名) などが収録されていないCDで表示を切り換えると、“NO NAME” などが表示されます。

タイトルを見て聞きたいCDをさがす

タイトルリスト

CDのタイトルから、聞きたいCDを選ぶことができます。

- 1 FUNCTION ボタンを押して、タイトルリストモードを選ぶ



- 2 ◀または▶ ボタンを押して、聞きたいCDを選ぶ

▶ : 次のCDのタイトルを表示させるとき

◀ : 前のCDのタイトルを表示させるとき

記憶されているタイトルが表示されます。また、そのCDのCD番号が点滅します。



- 3** ▲ ボタンを押して、選んだCDを再生する
選んだCDが再生されます。



- 4** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

CD再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、ポーズモードを選ぶ



- 2** ▲ ボタンを押して、ポーズをONにする
CD再生が一時停止します。
▼ ボタンでOFFになります。



- 3** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



一時停止中に表示されます。

CDの音質を調節する

COMP/DBE

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

- ・ COMP/DBEに対応しているマルチCDの機能です。

COMPについて

COMPとは、Compression (コンプレッション) の略です。大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミック バス エンファシス) の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 FUNCTION ボタンを押して、COMP 切り換えモードを選ぶ

現在のCOMP/DBEの状態が表示されます。

COMP/DBE機能のないマルチCDを組み合わせたときは、“NO COMP”が表示され、操作ができません。



2 ▲または▼ボタンを押して、機能を選ぶ ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

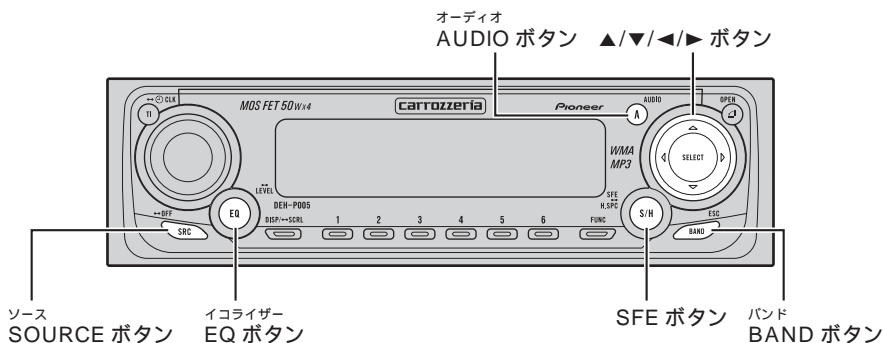


COMP OFF COMP1 (コンプレッション1) COMP2 (コンプレッション2)
COMP OFF DBE1 DBE2 最初のCOMP OFFに戻る

3 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

- ・ COMP、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。

音を調節する



お好みの音の空間に設定する

SFE

ボーカルや楽器などの音像を明確にし、自然で心地よい音の空間を手軽に演出することができます。さらに乗車位置を選択することで、よりお好みにあった設定にすることができます。

SFE について

FRT1 は、フロント出力の高音域と、リア出力の低音域を押し上げます。

FRT2 は、フロント出力の高音域・低音域と、リア出力の低音域を押し上げます。(低音域の押し上げは、フロント/リア共通です。)

1 SFE ボタンを 2 秒以上押して、SFE モードに切り換える

ボタンを 2 秒以上押すごとに、SFE モードとハーモニクスバースモードが切り換わります。



2 SFE ボタンを押して、SFE モードを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



SFE が ON のときに枠が点灯します。

FRT1-H FRT1-L FRT2-H FRT2-L CUSTOM SFE OFF
FRT1-Hに戻る

3 ◀または▶ ボタンを押して、乗車位置を選ぶ

- ▶ : 右に移動させるとき
- ◀ : 左に移動させるとき



L (左)、C (中央)、R (右) の中から選ぶことができます。

- SFEとはSound Focus Enhancer (サウンドフォーカスエンハンサー) の略です。
- FRT1、FRT2ともに、“L”より“H”の方が効果が大きくなります。
- “CUSTOM”には、低音、高音(61ページ)をお好みに合わせて調節したSFEモードが記憶されます。
- SFEモードを切り換えると、ハイパスフィルターは自動的にOFFになります。SFEモードとハイパスフィルターを組み合わせて設定するときは、SFEモードを切り換えてから、ハイパスフィルターを設定してください。

イコライザーカーブを補正する

ハーモニックスパイス

ハーモニックスパイスは、イコライザーカーブごとに補正することができます。また、“CUSTOM”カーブを選んでいる場合、ソースごとに“CUSTOM”カーブの低音と高音を調節することができます。

1 SFE ボタンを2秒以上押して、ハーモニックスパイスモードに切り換える

ボタンを2秒以上押すごとに、SFEモードとハーモニックスパイスモードが切り換わります。



2 SFE ボタンを押して、ハーモニックスパイスをONにする

ハーモニックスパイスがONになります。
もう一度押すと、OFFになります。



ハーモニックスパイスがONのときに枠が点灯します。

イコライザーカーブを選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの中から好みのイコライザーカーブを選ぶことができます。

CUSTOM について

“CUSTOM”には、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブがソースごとに記憶されます。(内蔵CDとマルチCD、およびExternal1とExternal2は、同じ設定になります。)イコライザーカーブを調節すると、“CUSTOM”に記憶されます。

1 EQ ボタンを押して、イコライザーカーブを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



POWERFUL NATURAL VOCAL CUSTOM EQ FLAT SPR-BASS
POWERFUL に戻る

モードの切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。

オーディオ調節モードの切り換え

1 AUDIO ボタンを押して、オーディオ調節モードを切り換える

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

音量バランス調節モード (58 ページ) イコライザー調節モード (59 ページ)
低音・高音レベル調節モード (61 ページ) ¹ ラウドネスモード (64 ページ)
サブウーファーモード (64 ページ) ²/ノンフェーディングモード (66 ページ) ³
サブウーファー調節モード (64 ページ) ²/ノンフェーディング調節モード (66 ページ) ³
ハイパスフィルターモード (67 ページ) SLA モード (68 ページ) ⁴
音量バランス調節モードに戻る

- ・オーディオ調節モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)
- ¹ ハーモニクスパイスモードを選んでいる場合、ハーモニクスパイスが ON で “CUSTOM” カーブを選んでいるときだけ低音・高音レベル調節モードに切り換わります。
- ² サブウーファーモードは、サブウーファーコントロールの設定を “P/O:FUL” 以外にしているときに切り換わります。また、サブウーファーモードを ON にしているときだけ、サブウーファー調節モードに切り換わります。
- ³ ノンフェーディングモードは、サブウーファーコントロールの設定を “P/O:FUL” にしているときだけ切り換わります。また、ノンフェーディングモードを ON にしているときだけ、ノンフェーディング調節モードに切り換わります。
- ⁴ ラジオの FM を聞いているときは、SLA モードには切り換わりません。

オーディオ詳細設定モードの切り換え

1 AUDIO ボタンを 2 秒以上押して、オーディオ詳細設定モードにする

2 AUDIO ボタンを押して、オーディオ詳細設定モードを切り換える

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

EQ ローバンド調節モード (60 ページ) EQ ミッドバンド調節モード (60 ページ)
EQ ハイバンド調節モード (60 ページ) 低音周波数選択モード (62 ページ) ¹
高音周波数選択モード (63 ページ) ¹ EQ ローバンド調節モードに戻る

- ・オーディオ詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)
- ¹ ハーモニクスパイスモードを選んでいる場合、ハーモニクスパイスが ON で “CUSTOM” カーブを選んでいるときだけ低音周波数選択モードと高音周波数選択モードに切り換わります。

前後左右の音量バランスを調節する

フェーダーバランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

- 1** AUDIO ボタンを押して、音量バランス調節モードを選ぶ



- 2** ▲または▼ボタンを押して、前後の音量バランスを調節する

- ▲：前を強めるとき
- ▼：後ろを強めるとき



前後のバランスは F15 ~ R15 の範囲で調節できます。

- 3** ◀または▶ボタンを押して、左右の音量バランスを調節する

- ▶：右を強めるとき
- ◀：左を強めるとき



左右のバランスは L9 ~ R9 の範囲で調節できます。

- 4** BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ リア出力の設定 (76 ページ) を “ R-SP :S/W ” にしたときは、前後の音量バランスを調節することはできません。

お好みに合わせてイコライザーカーブを調節する

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを調節することで、お好みの音質をつくることができます。

1 EQ ボタンを押して、調節したいイコライザーカーブを選ぶ (56 ページ)

2 AUDIO ボタンを押して、イコライザー調節モードを選ぶ



3 調節したいバンドを選んでレベルを調節する

バンドを選ぶ

◀または▶ ボタンを押して、調節したいバンドを選ぶ



L (低音) M (中音)、H (高音) の中から選ぶことができます。

レベルを調節する

▲または▼ ボタンを押して、レベルを調節する

▲ : 強めるとき

▼ : 弱めるとき



イコライザーカーブ - 6 ~ +6 の範囲で調節すると点灯し 調節できます。

4 BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ イコライザーカーブを調節すると、“CUSTOM” に記憶されます。
- ・ 交通情報 (72 ページ) を受信しているときは、イコライザー調節モードには切り換わりません。

イコライザーカーブを細かく調節する

イコライザーカーブには3つのバンドがあり、バンドごとに中心周波数とQファクターを調節することができます。

- 1 EQ ボタンを押して、調節したいイコライザーカーブを選ぶ (56 ページ)

- 2 AUDIO ボタンを 2 秒以上押して、オーディオ詳細設定モードにする



- 3 バンドを選んで中心周波数とQファクターを調節する

バンドを選ぶ

AUDIO ボタンを押して、調節したいバンドを選ぶ

ボタンを押すごとに、次のようにオーディオ詳細設定モードが切り換わります。

EQ ローバンド調節モード EQ ミッドバンド調節モード
 低音周波数選択モード
 高音周波数選択モード
 EQ ローバンド調節モードに戻る

中心周波数を選ぶ

◀または▶ ボタンを押して、中心周波数を選ぶ



表示 (中心周波数[Hz])	選ばれているバンド
40、80、100、160のいずれか	EQ ローバンド
200、500、1k、2kのいずれか	EQ ミッドバンド
3k、8k、10k、12kのいずれか	EQ ハイバンド



選んだ周波数が表示されます。

Qファクターを選ぶ

▲または▼ボタンを押して、選んだバンドのQファクター（イコライザーカーブの傾き）を選ぶ

▲：強めるとき

▼：弱めるとき

Qファクター（イコライザーカーブの傾き）は、2Nが最も急な傾きになり、1N、1W、2Wの順で傾きが緩やかになります。



2N、1N、1W、2Wの中から選ぶことができます。

4 BAND ボタンを押して、オーディオ詳細設定モードを解除する

- ・ イコライザーカーブを調節すると、“CUSTOM” に記憶されます。
- ・ 交通情報 (72 ページ) を受信しているときは、オーディオ詳細設定モードを操作することはできません。

低音と高音を調節する

バス/トレブル

低音・高音のカットオフ周波数とレベルを調節することができます。

ハーモニクスパイスモード (55 ページ) を選んでいる場合、ハーモニクスパイスがONで“CUSTOM”カーブを選んでいるときだけ、低音・高音の調節を行うことができます。

SFE (54 ページ) がFRT1の場合、低音調節はリア出力だけに効果があります。

SFE (54 ページ) がFRT1またはFRT2の場合、高音調節はフロント出力だけに効果があります。

低音・高音レベルの調節

1 AUDIO ボタンを押して、低音・高音レベル調節モードを選ぶ



次ページへつづく

2 バンドを選んでレベルを調節する

バンドを選ぶ

◀または▶ ボタンを押して、バンドを選ぶ

▶ : 高音を選ぶとき

◀ : 低音を選ぶとき



レベルを調節する

▲または▼ ボタンを押して、レベルを調節する

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき



レベルは - 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

3 BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ ハーモニクスパイスモード (55 ページ) を選んでいる場合、ハーモニクスパイスが ON で “CUSTOM” カーブを選んでいるときだけ、低音・高音レベル調節モードに切り換わります。
- ・ SFE (54 ページ) が FRT1 の場合、フロント出力の低音を調節することはできません。
- ・ SFE (54 ページ) が FRT1 または FRT2 の場合、リア出力の高音を調節することはできません。

調節する低音周波数の選択

- 1 AUDIO ボタンを 2 秒以上押してから AUDIO ボタンを押して、低音周波数選択モードを選ぶ



2 ◀または▶ ボタンを押して、周波数を選ぶ

- ▶ : 高い周波数を選ぶとき
- ◀ : 低い周波数を選ぶとき



周波数は、40、63、100、160 (Hz) の中から選ぶことができます。

3 BAND ボタンを押して、オーディオ詳細設定モードを解除する

- ・ ハーモニックスパイスモード (55 ページ) を選んでいる場合、ハーモニックスパイスが ON で “CUSTOM” カーブを選んでいるときだけ、低音周波数選択モードに切り換わります。

調節する高音周波数の選択

1 AUDIO ボタンを 2 秒以上押してから AUDIO ボタンを押して、高音周波数選択モードを選ぶ



2 ◀または▶ ボタンを押して、周波数を選ぶ

- ▶ : 高い周波数を選ぶとき
- ◀ : 低い周波数を選ぶとき



周波数は、2k、4k、6k、10k (Hz) の中から選ぶことができます。

3 BAND ボタンを押して、オーディオ詳細設定モードを解除する

- ・ ハーモニックスパイスモード (55 ページ) を選んでいる場合、ハーモニックスパイスが ON で “CUSTOM” カーブを選んでいるときだけ、高音周波数選択モードに切り換わります。

小音量時の音にメリハリをつける

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

- 1** AUDIO ボタンを押して、ラウドネスモードを選ぶ



- 2** ▲ ボタンを押して、ラウドネスを ON にする

▼ ボタンで OFF になります。



ラウドネスが ON のときに点灯します。

- 3** ◀ または ▶ ボタンを押して、ラウドネスの効果を選ぶ

- ▶ : 効果を大きくするとき
- ◀ : 効果を小さくするとき



LOW (弱)、MID (中)、HI (強) の中から選ぶことができます。

- 4** BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

サブウーファーを使う

サブウーファー

本機では、リアスピーカー端子または、RCA 出力端子に接続したサブウーファーの調節を行うことができます。(この機能は初期設定で ON になっています。)

位相切り換えについて

サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件により、これらの音の位相どうしが反転 (干渉) すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り換えです。車内条件によって、位相の正相 (フロント/リアスピーカーと同時に出力される) が良いか、逆相 (フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される) が良いかを選んで設定してください。

カットオフ周波数について

50、80、125 (Hz) から選んだ周波数以下の音域がサブウーファーから出力されます。

- 1** AUDIO ボタンを押して、サブウーファーモードを選ぶ



- 2** ▲ ボタンを押して、サブウーファーを ON にする

▼ ボタンで OFF になります。



サブウーファーが ON のときに点灯します。

- 3** ◀ または ▶ ボタンを押して、位相を切り換える

▶ : NOR (正相) を選ぶとき

◀ : REV (逆相) を選ぶとき



- 4** AUDIO ボタンを押して、サブウーファー調節モードを選ぶ



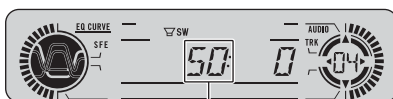
- 5** カットオフ周波数とレベルを調節する

周波数を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押して、周波数を選ぶ

▶ : 高い周波数を選ぶとき

◀ : 低い周波数を選ぶとき



周波数は、50、80、125 (Hz) の中から選ぶことができます。

レベルを調節する

▲ または ▼ ボタンを押して、レベルを調節する

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき



レベルは - 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

次ページへつづく

6 BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・サブウーファーコントロールを“P/O :FUL”にしたときは、サブウーファーモードには切り換わりません。(77ページ)
- ・サブウーファーをOFFにしたときは、サブウーファー調節モードには切り換わりません。

外部アンプなどでサブウーファーを調節する

ノンフェーディング

本機のローパスフィルターを通さずに、原音のままRCA出力から音声信号を出力することができ、さらにその出力レベルを調節することができます。(この機能は初期設定でONになっています。)

1 AUDIO ボタンを押して、ノンフェーディングモードを選ぶ



2 ▲ ボタンを押して、ノンフェーディングをONにする

▼ ボタンでOFFになります。



3 AUDIO ボタンを押して、ノンフェーディング調節モードを選ぶ



4 ▲ または ▼ ボタンを押して、レベルを調節する

- ▲ : レベルを大きくするとき
- ▼ : レベルを小さくするとき



レベルは - 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

5 BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・サブウーファーコントロールを“P/O :FUL”にしたときだけ、ノンフェーディングモードに切り換わります。(77ページ)
- ・ノンフェーディングをOFFにしたときは、ノンフェーディング調節モードには切り換わりません。

低い音をスピーカーから出力させないようにする

ハイパスフィルター (HPF)

ハイパスフィルターをONにすると、選んだ周波数より低い周波数の音が各スピーカーから出力されなくなります。

ハイパスフィルター (HPF) について

ハイパスフィルターは、設定した周波数から下の音域 (低域) をカットして、高域を通すフィルターです。ハイパスフィルターをONにすることにより、サブウーファーとの音のつながりを調節することができます。

カットオフ周波数について

50、80、125 (Hz) から選んだ周波数より高い周波数の音域が各スピーカーから出力されます。

- 1 AUDIO ボタンを押して、ハイパスフィルターモードを選ぶ



- 2 ▲ ボタンを押して、ハイパスフィルターをONにする

▼ ボタンでOFFになります。



- 3 ◀または▶ ボタンを押して、カットオフ周波数を選ぶ

▶ : 高い周波数を選ぶとき

◀ : 低い周波数を選ぶとき

選んだ周波数より高い周波数の音だけが、各スピーカーから出力されます。



50、80、125 (Hz) の中から選ぶことができます。

- 4 BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- SFEモードを切り換えると、ハイパスフィルターは自動的にOFFになります。SFEモードとハイパスフィルターを組み合わせで設定するときは、SFEモードを切り換えてから、ハイパスフィルターを設定してください。

各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

1 SOURCE ボタンを押して、FMを受信し、FMの音量を確かめる (32 ページ)

2 SOURCE ボタンを押して、調節したいソースに切り換える (10 ページ)

3 AUDIO ボタンを押して、SLA モードを選ぶ



4 ▲または▼ボタンを押して、レベルを調節する

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき

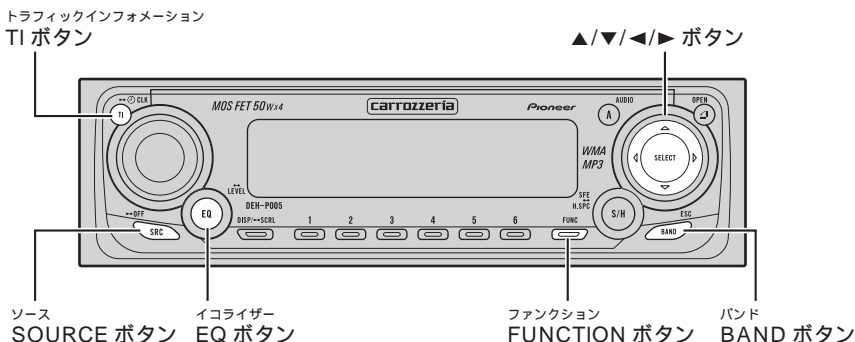


レベルは - 4 ~ + 4 の範囲で調節できます。

5 BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- SLA とは Source Level Adjuster (ソースレベルアジャスター) の略です。
- FM の音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FM を聞いているときは、SLA モードに切り換えることはできません。
- AM、テレビ、CD、External (エクスターナルユニット)、AUX (外部機器) のそれぞれの音量差を調節することができます。なお、内蔵CDとマルチCD、External1とExternal2、およびAMと交通情報 (72 ページ) は同じ設定になります。

その他の機能と付録



瞬時に音量を小さくする

アッテネーター

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を小さくすることができます。

- 1 リモコンのATTボタンを押して、瞬時に音量を小さくする(7ページ)
音量が約1/10になります。
もう一度押すと、OFFになります。



アッテネーターがONのときに点滅します。

時計を表示させる

時計表示

本機の電源のON/OFFに関わらず、時計を表示させることができます。

- 1 TIボタンを2秒以上押して、時計を表示する
もう一度2秒以上押すと、OFFになります。



時計表示

- ・ 本機の電源がONの場合は、時計表示のときに他の操作をすると、時計表示は一度解除されますが、約25秒後に時計表示に戻ります。
- ・ 時計を合わせるには(73ページ)

よく使う機能を直接操作する

ダイレクトファンクション

リモコンのDFボタンを押すと、よく使う機能をソースごとに直接操作することができます。

内蔵CD、WMA/MP3、マルチCDのとき

- 1 リモコンのDFボタンを押して、ポーズをONにする(7ページ)
再生が一時停止します。(17、27、51ページ)
もう一度押すと、OFFになります。

ラジオのとき

- 1 リモコンのDFボタンを2秒以上押して、BSMを始める(7ページ)
BSMが始まります。(34ページ)
BSM中にリモコンのDFボタンを押すことで、BSMを途中解除することもできます。

テレビのとき

- 1 リモコンのDFボタンを2秒以上押して、BSSMを始める(7ページ)
BSSMが始まります。(テレビの取扱説明書)
BSSM中にリモコンのDFボタンを押すことで、BSSMを途中解除することもできます。

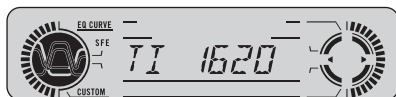
交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

AM 1,620 kHzまたは1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。

1 TIボタンを押して、交通情報を受信する

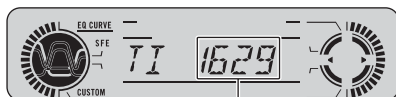
AM 1,620 kHzの交通情報を受信します。



2 ◀または▶ ボタンを押して、周波数を選ぶ

▶ : 1629 kHzを選ぶとき

◀ : 1620 kHzを選ぶとき



受信周波数

3 TIボタンを押して、交通情報の受信をやめる

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

- この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。
- 交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定することができます。
- 交通情報を受信すると、自動的に交通情報用のイコライザーカーブに切り換わります。交通情報の受信をやめるとイコライザーカーブは、元の状態に戻ります。
- 交通情報を受信しているときは、イコライザー調節モードには切り換わりません。

初期設定モードの切り換えかた

外部機器やディマラーの設定をするときは、初期設定モードを切り換えて操作します。

1 SOURCE ボタンを1秒以上押して、電源をOFFにする

2 電源がOFFのときにFUNCTION ボタンを2秒以上押して、初期設定モードに切り換える

初期設定モードに切り換わります。

3 FUNCTION ボタンを押して、初期設定モードを切り換える

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

- 時計調節モード (73 ページ) AUX (外部機器) モード (74 ページ)
- ディマーモード (75 ページ) リア出力設定モード (76 ページ)
- TELミュート/アッテネートモード (78 ページ) 時計調節モードに戻る

- ・ 初期設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(解除すると、電源が OFF になります。)

時計を合わせる

時計合わせ

時計を合わせることができます。

1 電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押して、時計調節モードを選ぶ



2 時計を設定する

時または分を選ぶ

◀または▶ ボタンを押して、時または分を選ぶ

押すごとに、時または分が切り換わります。



時刻を合わせる

▲または▼ ボタンを押して、時刻を合わせる

▲ : 時刻を進めるとき

▼ : 時刻を戻すとき

分を調節すると、0秒からカウントが始まります。



3 BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除する

外部機器の音声を聞く

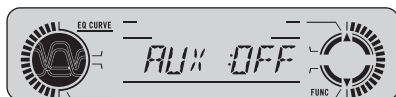
AUX (外部機器) の設定

本機に DAT や VTR などの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

外部機器との接続について

別売の RCA/IP-BUS インターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA 出力のある DAT や VTR を、外部機器として本機に接続することができます。詳しくは、RCA/IP-BUS インターコネクターの説明書をご覧ください。

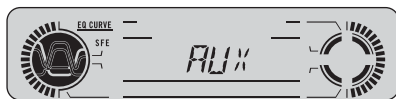
- 1 電源が OFF のときに FUNCTION ボタンを 2 秒以上押してから FUNCTION ボタンを押して、AUX (外部機器) モードを選ぶ



- 2 ▲ ボタンを押して、AUX (外部機器) の設定を ON にする
▼ ボタンで OFF になります。



- 3 SOURCE ボタンを押して、ソースを AUX に切り換える (10 ページ)
ソースを AUX に切り換えると、外部機器の音声が出力されます。



外部機器の名称を入力する

接続した外部機器の名称を入力することができます。

- 1 SOURCE ボタンを押して、ソースを AUX に切り換える (10 ページ)



- 2** FUNCTION ボタンを2秒以上押して、外部機器の名称入力モードを選ぶ



- 3** 外部機器の名称を入力し、記憶させる

CDタイトル入力の手順3～6を参照し、同様の操作で外部機器の名称を記憶させてください。(48ページ参照)

外部機器の名称は、8文字まで入力することができます。

夜間のディスプレイの明るさを切り換える

ディマー

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトをONにするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなります。

- 1** 電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してからFUNCTIONボタンを押して、ディマーモードを選ぶ



- 2** ▲ボタンを押して、ディマーをONにする
▼ボタンでOFFになります。



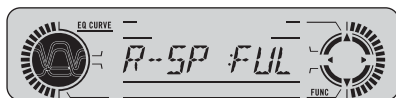
- 3** BANDボタンを押して、初期設定モードを解除する

リアの出力方法を変える

リアスピーカー出力の設定

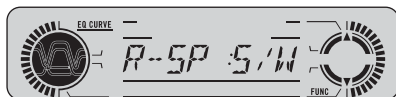
リア出力に接続するスピーカーの種類に合わせて切り換えます。フルレンジスピーカーを接続する場合は、“R-SP:FUL”に切り換えます。また、サブウーファーを接続する場合は、“R-SP:S/W”に切り換えます。リア出力の設定を“R-SP:S/W”に切り換えると、リアスピーカー端子にサブウーファーを直接接続することができます。

- 1** 電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してからFUNCTIONボタンを押して、リア出力設定モードを選ぶ



- 2** ▲または▼ボタンを押して、リアの出力方法を選ぶ

- ▲ : R-SP:FUL (フルレンジのとき)
- ▼ : R-SP:S/W (サブウーファーのとき)



- 3** BANDボタンを押して、初期設定モードを解除する

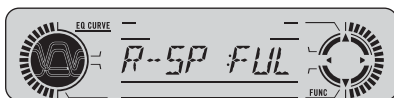
- ・ リア出力の設定は、リアスピーカー端子とRCA出力を同時に切り換えます。どちらか一方のみを切り換えることはできません。

サブウーファースの調節先を選ぶ

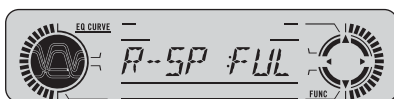
サブウーファーコントロールの設定

RCAサブウーファー出力にサブウーファーを接続する場合、本機でサブウーファーを調節する“P/O:S/W”と、外部アンプでサブウーファーを調節する“P/O:FUL”が選べます。

- 1** 電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してからFUNCTIONボタンを押して、リア出力設定モードを選ぶ



- 2** ▲ボタンを押して、“R-SP:FUL”を選ぶ



- 3** ◀または▶ボタンを押して、サブウーファーコントロールを設定する

- ▶ : P/O:FUL (外部アンプで調節するとき)
- ◀ : P/O:S/W (本機で調節するとき)



- 4** BANDボタンを押して、初期設定モードを解除する

- ・サブウーファーコントロールの設定を“P/O:FUL”にしたときは、オーディオ調節モードでノンフェーディングを調節してください。
- ・サブウーファーコントロールの設定を“P/O:S/W”にしたときは、オーディオ調節モードでサブウーファーを調節してください。
- ・サブウーファーコントロールの設定を切り換えるとオーディオ調節モードで行った設定は、リセットされます。

ミュート/アッテネート切り換え

ミュート機能のある製品（パイオニア製ナビゲーションシステム「AVIC-DR2000」など）と本機を組み合わせると、その製品からミュート信号を受け取っているときだけ、ミュートまたはアッテネート機能が働きます。ミュート機能が働いているときの音量は“0”で、アッテネート機能が働いているときの音量は、元の音量の約1/10です。ミュートまたはアッテネート機能が解除されると、自動的に元の音量に戻ります。

- 1** 電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してからFUNCTIONボタンを押して、TELミュート/アッテネートモードを選ぶ



- 2** ◀または▶ボタンを押して、信号入力時の設定を選ぶ

- ▶ : MUT (ミュート)
- ◀ : ATT (アッテネート)



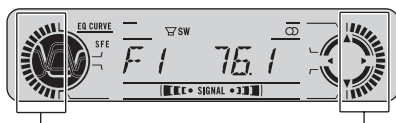
- 3** BANDボタンを押して、初期設定モードを解除する

レベルインジケータを切り換える

レベルインジケータ

ディスプレイ両端のレベルインジケータの表示方法を切り換えることができます。

- 1** EQボタンを2秒以上押して、レベルインジケータを切り換える
2秒以上押すごとに、次のように切り換わります。



レベルインジケータ

レベルインジケータ-1 レベルインジケータ-2 レベルインジケータ-全点灯
レベルインジケータ-OFF レベルインジケータ-1に戻る

CDの正しい使いかた

使用できるCDについて

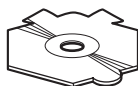
ディスクタイトル面に下記マークの付いているコンパクトディスク（光学式デジタルオーディオディスク）をご使用ください。



本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証及び性能保証は致しかねます。

ひび、キズ、そりのあるCDは使用しないでください。

特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したCD-R/CD-RWディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ。または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。

パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定および環境によって再生できないことがあります。（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください。）

直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/CD-RWディスクは再生できなくなる場合があります。

CD-R/CD-RWディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。（音楽データ（CD-DA）再生時）

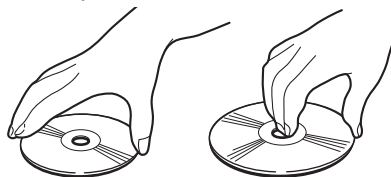
本機はCD-R/CD-RWディスクのトラックスキップ機能に対応しています。スキップ指定された曲を飛ばして再生します。（音楽データ（CD-DA）再生時）

CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。

CD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

取り扱い上のご注意

CDは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。

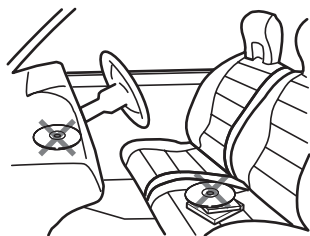


CDにキズを付けしないでください。CDにシールなどを貼り付けしないでください。



保管上のご注意

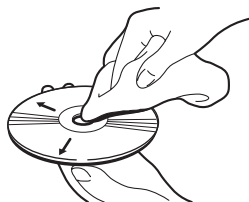
直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

お手入れについて

CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。

CD再生の環境について

走行中、振動のショックで音飛びを起すことがあります。

寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。

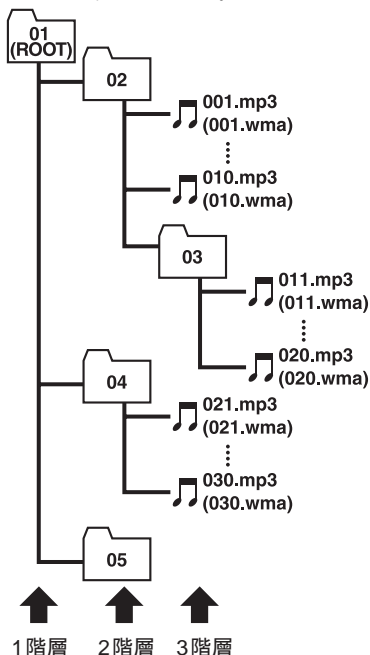
このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。

- ・ 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

WMA/MP3 ファイルについて

フォルダーとWMA および MP3 ファイルについて

WMA および MP3 ファイルを収録した CD-R/CD-RW/CD-ROM のイメージは下図のようになります。



本機はWMA およびMP3 ファイルが記録された CD-R/CD-RW/CD-ROM の再生に対応しています。ディスクは、ISO9660 のレベル1、およびレベル2、および拡張フォーマット (Joliet, Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。(88 ページ)

本機はマルチセッション (88 ページ) 方式で記録したディスクの再生に対応しています。

パケットライト (88 ページ) には対応していません。

m3u (88 ページ) のプレイリストには対応していません。

MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PRO フォーマットには対応していません。

ファイル名の最大表示文字数は、拡張子 (.mp3、.wma) を含めて32文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は32文字までです。

拡張フォーマット (Romeo, Joliet) (88 ページ) に準拠して記録されたファイルの場合、先頭から32文字までの表示に対応しています。

再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。

- ・ フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当ててはできません。
- ・ CD-R、CD-RW、CD-EXTRA、MIXED-MODE CD ディスクに WMA および MP3 ファイルと、音楽データ (CD-DA) が混在しているときは、WMA および MP3 ファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えることができます。WMA および MP3 ファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。
- ・ WMA および MP3 ファイルを含まないフォルダーは認識しません。(フォルダー番号の表示をせず、スキップします。)
- ・ 8階層までのWMA およびMP3 ファイルの再生に対応していますが、多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ・ ディスクに含まれるフォルダーの合計が253個まで再生可能です。

WMA とは？

「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver.7、7.1 または Windows Media Player for Windows XP を使用してエンコードすることができます。(89 ページ)

- ・ WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- ・ WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

再生できる WMA ファイルについて

- ・ WMA ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wma) を付けてください。
- ・ 本機は、拡張子 (.wma) が付いているファイルを WMA ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMA ファイル以外には拡張子 (.wma) を付けないでください。

再生可能な WMA ファイルのサンプリング周波数は 32/44.1/48 kHz です。一般的に WMA ファイルは、ビットレート (88 ページ) が高いほど音質は良くなります。本機は、48 kbps ~ 192 kbps の WMA ファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

MP3 とは？

MPEG Audio Layer 3 の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。(88 ページ)

再生できる MP3 ファイルについて

- ・ MP3 ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.mp3) を付けてください。
- ・ 本機は、拡張子 (.mp3) が付いているファイルを MP3 ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3 ファイル以外には拡張子 (.mp3) を付けないでください。

ID3 Tag (88 ページ) の Ver1.0 および Ver1.1 の album (Disc Title として表示)、track (Track Title として表示)、artist (Track Artist として表示) の表示に対応しています。32/44.1/48 kHz の MP3 ファイルを再生している場合のみエンファシスに対応しております。(なお、再生可能なサンプリング周波数は 16/22.05/24/32/44.1/48 kHz です。)一般的に MP3 ファイルは、ビットレート (88 ページ) が高いほど音質は良くなります。本機は、8 kbps ~ 320 kbps の MP3 ファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128 kbps 以上のビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

故障かな？と思ったら

故障かな？ と思ったら

修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。



チェックしても 直らないときは

「保証書とアフターサービ
ス」(87ページ)をお読み
になり、修理を依頼して
ください。

共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 (「取付説明書」参照)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。 (「取付説明書」参照)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を調節してください。 (10ページ)
	アッテネーターがONになっている。	アッテネーターを解除してください。 (70ページ)
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (58ページ)
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (58ページ)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (58ページ)

ラジオ

症状	原因	処置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。(33ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。(33ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。(33ページ)

CD、WMA/MP3

症状	原因	処置
CDの再生中、大きな雑音が出る。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
CDの再生が途中で止まる。	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。(81ページ)
CDの再生ができない。	CDにくもりや水滴が付いている。	CDにくもりや水滴をふき取ってください。(81ページ)
	CDの表裏を逆にセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。(12ページ)

こんなメッセージが表示されたら

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示される時	処置
「ERROR-11」「ERROR-12」「ERROR-17」「ERROR-30」	ディスクが汚れているとき。 ディスクにキズやひびがあるとき。	ディスクの汚れをふき取ってください。(81ページ) ディスクを交換してください。
「ERROR-12」「ERROR-17」	CD-R/CD-RWを録音しないまま使用しているとき。	CD-R/CD-RWは、録音してからお使いください。
「ERROR-10」「ERROR-11」「ERROR-12」「ERROR-17」「ERROR-30」「ERROR-50」「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、ディスク再生を一度やめてから、もう一度ディスク再生にしてください。
「ERROR-22」「ERROR-23」	再生できないフォーマットのCD-ROMを挿入したとき。	ディスクを交換してください。
「ERROR-44」	すべての曲がトラックスキップ指定されているとき。	ディスクを交換してください。
「HEAT」	本機の内部温度が高いとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。
「NO AUDIO」	何も録音されていないCD-ROMを挿入したとき。	WMA/MP3ファイルの記録されているCD-ROMと交換してください。

マルチCD再生中に、上記以外のエラーメッセージが表示されたときは、マルチCDの説明書をご覧ください。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることを確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

用語解説

パケットライト

フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルを必要な時点で、CD-Rなどに書き込む方式の総称です。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps (bit per second) です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式 (MP3 など) での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音となります。(MP3 と WMA のように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる記録方式です。CD-ROM や CD-R、CD-RW にデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

ID3 Tag

曲の関連情報を MP3 ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報は、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容は ID3 Tag 編集機能のあるソフトを利用して自由に編集ができます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

ISO9660 フォーマット

CD-ROM のファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際基準です。ISO9660 フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル1 :

ファイル名は、8.3 形式 (名前は半角英文大文字と半角数字、“_” で 8 文字以下、拡張子は 3 文字)

レベル2 :

ファイル名は、最大 31 文字 (区切り文字、“.” と拡張子を含む) で、各フォルダーの階層は 8 つ以下

拡張フォーマット

Joliet :

ファイル名は、最大で 64 文字

Romeo :

ファイル名は、最大で 128 文字

m3u

プレイリストファイルの拡張子 (.m3u) で、「WINAMP」というソフトで作成したプレイリストに付きます。

MP3 (エムピースリー)

「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO (国際標準化機構) のワーキンググループ (MPEG) の定めた音声圧縮の規格です。MP3 は、音声データを元のデータの約 1/10 のサイズに圧縮することができます。

VBR (バイビートル)

「Variable Bit Rate (可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR (固定ビットレート)が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

WMA (ダブリューエムエー)

「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver.7、7.1または Windows Media Player for Windows XP を使用してエンコードすることができます。Microsoft、Windows Media、Windows のロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

おもな仕様

CD プレーヤー部

形式 : コンパクトディスク
オーディオシステム

使用ディスク : コンパクトディスク

信号
フォーマット : サンプリング周波数 : 44.1 kHz
量子化ビット数 : 16 ビット直線

周波数特性 : 5 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)

S/N : 94 dB (1 kHz)
(IHF-A ネットワーク)

ダイナミック
レンジ : 92 dB (1 kHz)

チャンネル数 : 2 (ステレオ)

MP3
デコーディング
フォーマット : MPEG-1 & 2 Audio Layer-3
WMA
デコーディング
フォーマット : Ver. 7 & 8

FM チューナー部

受信周波数帯域 : 76.1 ~ 89.9 MHz

実用感度 : 8 dBf (0.7 μ V/75、
モノラル、S/N : 30 dB)

S / N 50 dB
感度 : 10 dBf
(0.9 μ V/75、モノラル)

S / N : 75 dB (IHF-A ネットワーク)

高調波歪率 : 0.3 %
(65 dBf 入力、1 kHz、ステレオ)
0.1 %
(65 dBf 入力、1 kHz、モノラル)

周波数特性 : 30 ~ 15,000 Hz (± 3 dB)

ステレオ
セパレーション : 45 dB (65 dBf 入力、1 kHz)

AM チューナー部

受信周波数帯域 : 522 ~ 1,629 kHz (9 kHz)

実用感度 : 18 μ V (S/N : 20 dB)

S/N : 65 dB (IHF-A ネットワーク)

アンプ・オーディオ部

最大出力 : 50 W \times 4
50 W \times 2ch/4 + 70 W \times 1ch/2
(for サブウーファー)

定格出力 : 22 W \times 4
(50 ~ 15,000 Hz、5 % THD)

負荷
インピーダンス : 4
(4 ~ 8 [2 for 1ch] 使用可能)

プリアウト
最大出力レベル : 2.2 V
出力
インピーダンス : 1 k

イコライザー

(3 バンド
パラメトリック
イコライザー) : (LOW)

周波数 : 40/80/100/160 Hz
Qファクター : 0.35/0.59/0.95/1.15
(+6 dB ブースト時)
調整幅 : ± 12 dB
(MID)

周波数 : 200/500/1K/2K Hz
Qファクター : 0.35/0.59/0.95/1.15
(+6 dB ブースト時)
調整幅 : ± 12 dB
(HIGH)

周波数 : 3.15K/8K/10K/12.5K Hz
Qファクター : 0.35/0.59/0.95/1.15
(+6 dB ブースト時)
調整幅 : ± 12 dB

ラウドネス

コンター : LOW : 3.5 dB (100 Hz)
3 dB (10 kHz)

MID : 10 dB (100 Hz)
6.5 dB (10 kHz)

HIGH : 11 dB (100 Hz)
11 dB (10 kHz)
(ボリューム : - 30 dB)

トーン

コントロール : (パス)

周波数 : 40/63/100/160 Hz
ゲイン : ± 12 dB
(トレブル)

周波数 : 2.5K/4K/6.3K/10K Hz
ゲイン : ± 12 dB

ハイパス

フィルター : 周波数 : 50 Hz/80 Hz/125 Hz
スロープ : - 12 dB/oct.

サブウーファー

出力：周波数 : 50/80/125 Hz
スロープ : - 18 dB/oct.
ゲイン : ± 12 dB
位相 : NORMAL/REVERSE

共通部

使用電源 : DC 14.4 V
(10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式 : マイナスアース方式
最大消費電流 : 10.0 A
外形寸法
(取付寸法) : 178 (W) × 50 (H) × 162 (D) mm
(ノーズ寸法) : 170 (W) × 46 (H) × 15 (D) mm
質量 : 1.4 kg (コードユニット含まず)

付属品

コードユニット : 1
取付ネジ類 : 1 式
取扱説明書 : 1
取付説明書 : 1
安全上のご注意 : 1
保証書 : 1
ご相談窓口・
修理窓口のご案内 : 1

- ・ 上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

ご購入後の製品の修理・取り扱いのご相談は、お買い求めの販売店へお問い合わせください

修理のご依頼は、取扱説明書の『故障かな?と思ったら』の項目をご確認のうえ、お買い求めの販売店へご相談ください。
取り付け・組み合わせなどのお問い合わせにつきましても、お買い求めの販売店へご相談・ご依頼ください。

下記窓口へのお問い合わせ時のご注意

市外局番「0070」で始まるフリーフォンおよび「0120」で始まるフリーダイヤルは、PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。また、一般電話は携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。あらかじめご了承ください。


安全上のご注意

携帯電話などの走行中の使用などの禁止に関する規定が、改正道路交通法（法第71条第5号の5）にて施行されています。自動車または原動機付自転車（原付）からの、携帯電話などによる発信・応答・通話は、安全な場所に止めてからご利用ください。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9:30～17:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

カーオーディオ/カーナビゲーション製品のご相談窓口： **0070-800-8181-11**
03-5496-8016（一般電話）

カタログのご請求窓口： **0070-800-8181-33**
ファックス：**03-3490-5718**

パイオニアホームページのご案内


商品に関する「よくあるお問い合わせ」FAQのご案内 <http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html>
カタログ請求とメールサービス登録のご案内 <http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html>

部品のご購入についてのご相談窓口

付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入に関するご相談については、部品受注センターにご相談ください。

部品受注センター（フリーダイヤル）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話： **0120-5-81095**
0538-43-1161（一般電話）

ファックス： **0120-5-81096**

ご贈答品などの修理についてのご相談窓口

修理のお問い合わせは、取扱説明書の『故障かな?と思ったら』の項目をご確認のうえお問い合わせください。ご転居されたり、ご贈答品などで、お買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、下記の修理受付センターにご相談ください。

修理受付センター（沖縄県を除く全国）（フリーダイヤル）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話： **0120-5-81028**
03-5496-2023（一般電話）

ファックス： **0120-5-81029**

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話：**098-879-1910**（一般電話）

ファックス：**098-879-1352**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 2002

< KMMZX/02J00000 > < CRA3405-A/N >